

～ 子どもが育つ社会を考える 2021 ～

ふくいチャイルドライン養成講座・一般公開講座

ふくいチャイルドラインは子ども専用電話です。子どもの声を聴くのは、一般の受け手ボランティアです。心身ともに健康な19才以上の人であれば、特別な資格は必要ありません。下記の研修をすべて受講した後、受け手ボランティアとして活動してみませんか。



9月5日(日)
とき: 2021年
9月12日(日)



受け手ボランティアをご希望の方は2日間のすべてのプログラムに参加して頂きます。

- ◆研修費 2日間で8,000円 ※公開講座は各1,000円
(研修費は振り込みになります。お申し込みいただいた方に郵送にて振り込みの方法をご案内します)
- ◆開催形式 会場対面+Zoomリモートの両形式
- ◆対面会場 福井県社会福祉センター4階(福井県内にお住いで、会場への参加を希望される方のみお越しください)
- ◆定員 会場45名 Zoom100名
- ◆申込方法 福井県子どもNPOセンターのHP上の「申し込みフォーム」からお申し込み下さい。

参加の方法は
会場とZoomの
どちらかを選ぶ
ことができます

《9月5日(日)》

時間	研修内容
《公開講座》 10:00~12:00	【講演】「子どもが子どもでいられる社会を ～子どもが自己を育てていくために私たちができること～」 講師:片岡洋子氏(千葉大学名誉教授 教育科学研究会『教育』編集長)
13:00~15:00	【講演】「チャイルドラインの歴史と役割」 講師:高橋弘恵氏(NPO法人チャイルドラインあいち専務理事)
15:00~17:00	【講演】「福井の子どもたちに寄り添うためには ～LINE相談つぶやきルームと子どもの居場所から見えるもの～」 講師:須磨航氏(みんなの居場所「withふくい」代表)

《9月12日(日)》

時間	研修内容
《公開講座》 10:00~12:00	【講演】「自由に過ごすことをあきらめない!ボクがボクであるために! ～子どもたちに豊かな「子ども時代」を!「子どもの権利条約」について一緒に学びましょう～」 講師:大屋寿朗氏(NPO法人Art.31代表)
13:00~15:00	【講演】「聴く力は愛する力」 講師:向井清和氏(教育カウンセラー)
15:00~17:00	【ガイダンス】「ふくいチャイルドラインについて」 講師:谷内由美子(福井県子どもNPOセンター理事長) 岡田伊佐央(ふくいチャイルドライン室長)

お問い合わせ
お申し込み

認定特定非営利活動法人 福井県子どもNPOセンター
〒918-8106 福井市木田町36-1 コーポ木田201
TEL:0776-97-8460 FAX:0776-97-8461
E-mail:childnpo@muse.ocn.ne.jp
HP: <http://childnpo.com/> HP内の「申し込みフォーム」を使ってお申し込みください



HP



公開講座 講師紹介



片岡洋子（千葉大学名誉教授 教育科学研究会『教育』編集長）

1955年生まれ、福島県富岡町出身。千葉大学教育学部で31年間、教員養成教育に携わり2021年3月に定年退職。2015～2019年の5年間、千葉大学教育学部附属小学校長を兼任し、子ども暴力防止プログラム（GAP）や、性の多様性の教育を導入した。現在、教育科学研究会『教育』編集長。研究テーマは、生活綴方教育、ジェンダーと人権教育等。日本作文の会編「ココロの絵本」第4巻『好きな人いる？』（大月書店、2001年）を編集。『子どもの生活世界と子ども理解』（かもがわ出版、2013年）『いじめと向きあう』（旬報社、2013年）『教育をつくる』（旬報社、2015年）などの共編著がある。



大屋寿朗（NPO法人 Art. 31 代表）

1958年福岡生、立命大卒。長野県諏訪郡原村在住。
1982年～広島および全国連絡会子ども劇場事務局。
2001年～劇団青年劇場入団、制作部副部長、青少年劇場部長を歴任。
2015年「子どもと文化のNPO Art. 31」を創立、権利条約の普及と舞台芸術作品の制作に従事。
権利条約には批准運動から関わり、国連への「市民・NGO報告書」作成に第一回（1997年）から参加し、2019年1月ジュネーブでの日本政府報告審査にも参加。

子どもの権利条約市民・NGOの会共同代表。
子どもの権利条約31条のひろば事務局長
長野の子ども白書編集委員



チャイルドラインに関してよくある質問

- ◆チャイルドラインの受け手になるには何か資格が必要ですか。
特に資格は必要ありません。19才以上で心身ともに健康な方ならどなたでもOKです。
- ◆研修は全部参加しないといけませんか。2回目は用事があるのですが。
2日間ともすべてのプログラムに参加してください。安心して受け手のボランティアに臨んで頂けるように2日間のプログラムを準備させていただきました。
- ◆この研修に参加したら受け手にならないといけませんか。
研修後1週間ほど考える時間があります。受け手になるか、ならないかはご自分で判断して頂きます。
- ◆仕事をしながら受け手ボランティアはできますか？
もちろんです。皆さんお仕事が終わってからご自分の都合に合わせて受け手に入っています。受け手は当番や割り当てではありませんので自発的に参加してください。
- ◆ふくいチャイルドラインの実施曜日と時間を教えてください。
活動しやすい会場で受け手ボランティアができます
・福井会場 毎週月曜日 16時～21時（2コマ）
・奥越会場 毎月第2.4水曜日 16時～21時（2コマ）
- ◆電話を受ける場所はどこですか？
匿名性の行為なので開設場所は公開していません。受け手登録した方に直前にお知らせします。
- ◆コロナウィルスの感染対策はしていますか？
消毒、体温測定、換気、密を防ぐなどの対策をしています。また、福井県の感染状況や宣言に応じて活動人数を制限します。活動を休む場合もあります。

※その他、何かご質問があればお気軽に福井県子どもNPOセンターにお問い合わせください。